

## カナダの CO2 排出量削減の取組み



### 地域市場ベースの排出量取引および CCS で

国の法案が固まるのはかなり先に

温室効果ガスの地域市場ベースの排出量取引によって、2020 年までに域内の温室効果ガスの排出量を、2005 年レベルから 15%低減することを目指す北米の組織があります。

西部気候イニシアティブ(Western Climate Initiative)と呼ばれ、米国からはアリゾナ州、カリフォルニア州、モンタナ州、ニューメキシコ州、オレゴン州、ユタ州、ワシントン州が、カナダからはケベック州、マニトバ州、ブリティッシュコロンビア州およびオンタリオ州が参加しています。

そのほかオブザーバーとして、米国のアラスカ州、コロラド州、アイダホ州、カンサス州、ネバダ州、ワイオミング州、カナダのサスカチュワン州、メキシコのバハ・カリフォルニア州、チワワ州、コアウイラ州、ヌエボレオン州、ソノラ州、タマウリパス州が名を連ねています。

### カナダ 4 州の動き

ブリティッシュコロンビア州は昨年 4 月に排出量取引制度の導入を決めており、残りの 3 州も法の整備を急いでいます。

ケベック州政府は先月、排出量取引制度を 2012 年に導入するための法案を議会に提出しました。

オンタリオ州政府も先月、同様の法案を議会に提出しました。

そしてマニトバ州も「まもなくこれに追随する見通し」(5 月 27 日、Reuters News)とのことです。

### アルバータ州では

Stelmach 首相が、「国家レベルの排出量取引には関心が無い」(2008 年 8 月 15 日、Edmonton Journal)と明言しています。

(Web 版)「世界のエネルギーの話題」(2009 年 6 月 7 日)

あくまで CO2 回収・貯留(CCS)による削減を目指しています。

アルバータ州は昨年 11 月に、同州の CCS プロジェクトについて 20 社に計画書の提出を要請しましたが、「Suncor、Syncrude、ConocoPhillips および StatoilHydro は計画書の提出を辞退」(4 月 2 日、Calgary Herald)しました。

検討中のオイルサンド開発計画に CCS を盛り込むことを断念したということです。

Stelmach 首相は、「環境対策の重点をオイルサンドから、アルバータ州の産業のなかで温室効果ガスの排出量が最も多い石炭火力発電に移したい」(5 月 30 日、Calgary Herald)と語っています。

カナダ政府の Prentice 環境大臣によれば、議会に提出する気候変動対策法案は、2012 年から 2016 年の間に始まる米国でのさまざまな分野での温室効果ガス排出量の規制を踏まえたものになるそうです。

米国の対策が具体的に動き出すまで待つようです。

Stelmach 首相は、「CO2 回収・貯留プロジェクトを立上げて実行するための時間的余裕をアルバータ州に与えてくれる」(5 月 30 日、Calgary Herald)とコメントしています。

## ひとこと

現在、米国で回収された CO2 がカナダに輸送されて石油の増進回収に利用されています。逆にカナダで CO2 を回収して米国に輸送して貯留する計画もあります。

両国は温室効果ガス排出量削減の共通のルールが必要です。

(YY)

\*\*\*\*\*

本レポートは、世界の 2,100 以上の新聞、3,500 以上の業界誌、500 以上のニュースワイヤー(速報)/プレスリリース等を検索できるファクティバのデータベースサービスにより入手した多数の記事、レポートを比較、分析して執筆しています。(山崎由廣)